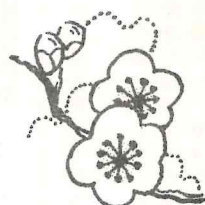


粟生第2住宅
自治会 ニュース
第123号
発行 自治会
編集 広報部



「アンケート不要の自治会に!!」

先日、皆さんにお願いしたアンケート、設問に不手際もあって答えづらいところがあったにもかかわらず70%を超える回答をいただきました。その上、大ぜいのかたがたから意見や提案を含む、様々なコメントが多数届いています。例えば「私のお姑さんは『友達がたくさんできる環境に住み心地のよさ』だといっています。注意してみているのですが、この団地では、ゲートボールや社交ダンスのようなお年寄りの集いは見かけませんが、あればいいのに……」なんとなく心が伝わってくるようです。このご意見はその内の一点です。

アンケートの集約は、数字を拾って整理するだけでは味のないものです。また数字では現わせない少数意見(ここでは、個々コメントを指す)は、没にしないといけないし、羅列するだけでも意味がない。要するに、その心を読みとることが集約であると考えて作業してきました。客観性が要求されることは勿論のことですが、その過程におけるプロセスは、例えていうならば「連想ゲーム」のようなものだと思って下さい。更に、ここでは結論は出ません。即ち、「……すべきだ」とか「……しなければならぬ」と決めつけることはないといいさせていただきます。そういうことですから、同様に、リラックスした気持でこのレポートを見て、これからの自治会の運営を見つめていただけると幸いです。

かつての実績が光っている

アンケートを集約して、数字だけを見る限りでは、推測で約90%の会員(家族を含む)が、なんらかの機会に自治会の活動に参加している。その運営にタッチしてきたことには、更に、会員のうち三人に一人が役員を経験をした

ことがある。この実績は、過去、現在を通じて自治会の活動が活発であったことをもの語っている。ところが、現状(会長、役員がくじを引かないと決まらぬ)と対比すると、要因は別にしても隔世の感があるのはどうだろうか。それはさておいても、この団地における、現在の秩序と環境は単純に考えて、住民相互間のモラ

ルがそれをつくり上げてきたというところになると思うのですが、団地特有の人間関係(出身地が異なるなどの理由による)その他の事情を調整し、まとめる役割を果たしてきたのは自治会であったことは疑う余地がありません。いい換えると、現在ある、比較的住みよい環境づくりに寄与してきた自治会の存在は大きかったと思えます。

なくてはならない自治会に

ある人からこんな質問がありました。「この自治会のどこに魅力があるのですか、教えて下さい。本当に魅力があると思えば、皆さんが入会すると思えるのですが、またある人は「自治会を盛り上げるために私達がやるべきではありません。団地の環境をよくするために自治会があるのと違いますか

主客転倒は迷惑です!」
ここでは結論は出ませんが「なくてはならない存在」即ち、更めて説明しなくても感じる「魅力」はあつてほしいし、また自治会の運営がすべて団地の環境をよくするために機能しているようにあつてほしいものです。
「存在価値」について、この引例はオーバーかもしれないませんが、仮に、この団地に自治会というものがなかったとしたらこの団地の環境はどうなっていたらうか。集合住宅の草分け、欧米での話ですが、古くなったマンションで、建物の老朽化だけではなく、秩序がなくなり、住民相互間の人間関係がズタズタになってしまつて、住むに耐えない状態になっている話を耳にしたことがあります。

自治会がすべてではないと思えますが、コミュニティを維持し、発展させていくためには、また、心の寄りどころにするためにも、自治会の運営に期待するところは大きいと思えます。

お年寄りに目を向けて
あるお年寄りが、こんな希望をもっています。「健康のことや、ために必要な知識など、知りたいことがたくさんあります。講師を呼ぶなどして、勉強会を考えてほしいですね」
また、こんな希望も寄せられています。「暮を打つたはおられま

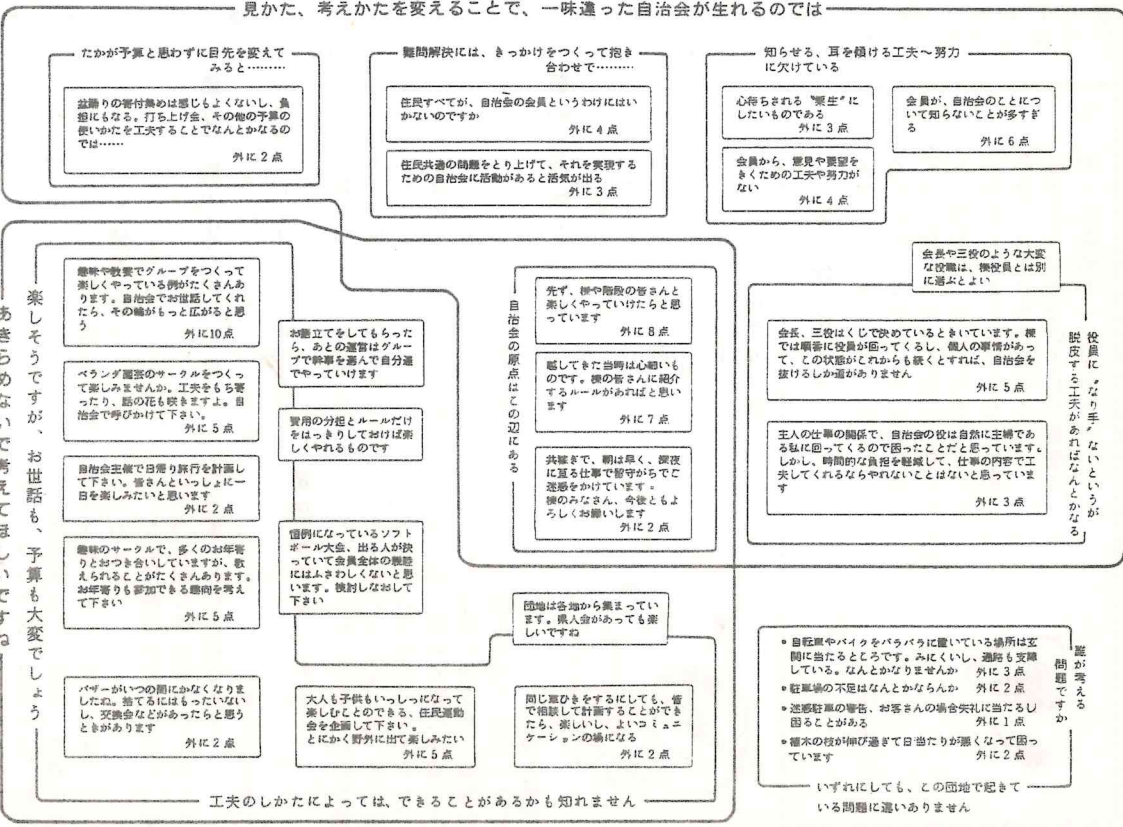
せんか。自治会のニュースで呼びかけて下さい」
きき流してしまうと、このさきやかな声に、なんとかして応えることができないものだろうか。注意してみると、この年代層の人々は、益踊りにも、ソフトボールにも参加できない人達であることに気づきます。

またなかには、この種のコメントがいくつもありました。「独り暮らしの上にも年々、いつも迷惑をかけています。これからは、大変なことを忘れて

整理していきまますと、運営上の問題として「仕事をもちの役員です。行事が増えるとなまりませぬ。休日は休養に充てたいです。『自治会の運営に注文をつけ過ぎると、役員に「なり手」がなくなりまますよ」実感が出ています。その気持はよくわかります。対象的というわけではありませんが、その点にも触れて「お膳立てをしたら、あとの運営

おおかたの人は、この自治会の発展に期待し、楽しい団地生活を希望している

見た、考えかたを要することで、一味違った自治会が生れるのでは



工夫のしかたによっては、できることがあるかも知れません

達でやっていけません」「費用の分担とルールだけをはっきりしておけば、楽しくやれるものです」これだけをもって、どうこういうことはできませんが、両者のご意見を比べてみますと、目のつけ

欠けているところを探せ

「行事を企画する、行事に参加する。だけを指して、会と会員が結びついているというだけではできない。そのことよりも、いまの自治会に、なにが欠けているかを考えてみるのが大切だ」このように指摘し、暗示するご意見がありました。

アンケートのなかで、現在の自治会の運営について、あなたはどう感じますか。の問いに対して、いまのまま十分だと思う365、見なおして必要がある346と拮抗しているのは、それを指しているように思います。

「年寄りの独り住まいで、なにもわかりません。自治会の活動とはなんのことですか」「役員をしてみると自治会のことがよくわかる」「役員を経験してみても、しんどいことも、自治会がなにをしているのかもわかりました。そして会員と役員会が結びついていないこともわかりました」その通りだと思えます。

「一月半ば過ぎて発行の『粟生』に会長の『あけましておめでとう』は、気の抜けたビールのようなものです。毎月一日に届くようにしてほしいですね」更に「『本音』活きている」記事が載っていない新聞は読む気がしません」欠けていることがここにもありました。などなど反省材料は山ほどあることに気づきます。

物申す自治会になれ

「原点に戻れ」の警告もありました。おいて自治会云々はナンセンスです」「棟の皆さんといっしょに、

子供連れのハイキングなど考えてほしいですね」整理してきて、煎じ詰めると、この辺に原点があ

ルールを守り 迷惑行為をやめて 住みよい団地に！

交通安全部より

① 当団地には歩行者専用道路があります。十三棟裏からオアシスへ抜ける歩道橋までの、道路「地蔵通り」が歩行者専用道路です。この道をオートバイやバイクで走り抜ける人を時々見かけます。急な坂道で道幅も狭い上、見通しも悪いので、大変な事態に成る事も予想されます。事故が起きる前に皆で決ま

環境衛生部より

① ふとんをベランダに干す事は保健衛生上とてもよい事で、15分から30分ぐらいで紫外線による滅菌効果があるといわれています。しかしその後ふとんをパンパンと叩く人をよく見かけます。布や中の綿を傷めるだけで決して良くないばかりか御近所の迷惑にもなりますよ。

第七住宅建設計画について

1月26日、当自治会は公団側と話し合うための対策委員会を開きました。

新入会員の紹介

棟	号室	会員	夫	妻	名
七	五〇一	島田	武彦	佐代子	
七	五〇二	田中	真治	満里子	
八	四〇二	徳長	史利	恵子	
一	五〇六	蔵岡	均	深雪	
一	一〇二	平岡	樹	登志子	
二	五〇三	加納	茂	由里	
二	五〇六	山上	一	真子	
二	三〇二	谷口	隆	真美	
三	一〇三	榎	昇	恭子	

一部、整理に手落ちがあったり掲載が遅れたことをお詫びします。

箕面栗生少年剣友会より

左記の要項で会員を募集いたします。

今年2年生になる人以上男女練習 土曜日・日曜日

入会金 千円

月会費 千円

締切日 3月31日 厳守

申込先 23棟501 梶山 (20-11282)

文化展中止のお知らせ

例年三月に予定されている文化展の開催は、本年度は中止することになりました。

出品件数の減少と、参観者数が年々減り、規模的に開催は無理であると判断致しました。

来年度は新役員の方にこの旨を十分伝えて、対応を検討し度いと思えます。(文化部)

簡易保険の手数料

集金の手数料の一部が、自治会に入金されました。

十二月分 五四、九四九円

一月分 五六、五三六円

以上です。(事業共済部)

赤ちゃん検診

二月四日の赤ちゃん検診は、三十九名の赤ちゃんが受診されました。

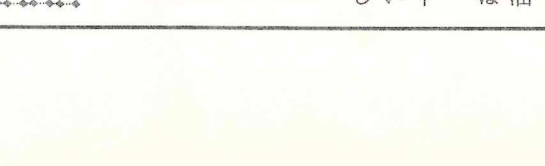
次回の検診は四月八日(水曜)受け付けは午後一時半から二時半まで集会所で行います。皆様のご利用をお待ちしております。(お詫び)

二月の検診日が変更になり、受診者の皆様に御迷惑をおかけした事を深くお詫び致します。(福祉厚生部)

廃油回収のお礼

二月十七日に今年度最後の廃油回収を実施いたしました。今回は18トンの回収ができました。

今年度も婦人部の活動に御協力下さいました会員の皆さんに感謝いたします。誠に有難うございました。(婦人部)



後髪ひかれる未練まだ残し菅笠が皆んな美人にするおけさネオン街ジャパキさんの播くエイズつっぱりが二人の恋を束縛せず整形をしてもどうにもならぬ顔長文へ三下り半の返事くる田舎からほのぼのとした春便り外人の福娘から福を受け

1棟 吉川正己